

# 両車輪

仁賀保中学校  
生徒指導だよりNo. 2  
発行日  
令和2年4月20日  
文責：佐伯

16日の新任式・始業式、18日の入学式を終えて、令和2年度が始まりました。16日の朝の登校の様子や、朝、久々に清掃に向かう姿を見て、私たち職員もいよいよ新年度の始まりを実感し、よし、今年度も頑張るぞ、と襟を正しました。

さて、始業式が終わり、新2、3年生の皆さんを前にステージから話す機会があったのですが、新年度を迎えた皆さんの不安や期待の表情が見て取れました。そして（様々な先生がおっしゃっていたのですが）、立派な態度やお辞儀に感心させられました。

新しい出会いや思いもよらない出来事は、自分自身を成長させるチャンスでもあります。良い意味で緊張感をもち、日々自分を成長させられるよう生活していきましょう。



## 物がそろうから心がそろう



◆ 新しい教室で使用するロッカー、見渡せばこれまでとは違う級友の姿、場所の変わったロッカールームやトイレ。新年度は何かと落ち着きませんね。こんな時はまずは自分の机周辺、そしてロッカーなどの整理整頓をして心を落ち着かせましょう。

◆ 「物心相即」という言葉があります。「物と心は繋がって影響し合っている」という意味です。つまり身の回りの物をそろえると、心もきちっとそろう、ということです。逆に整理整頓をせずに周囲を乱雑にしていると、心まで乱れてしまう、と捉えることもできます

ね。「気が付いたら自分の物だけでなく、人の物もそろえてあげましょう。自分の心だけでなく、他の人の心もそろうことでしょう。」トイレのスリッパなどもそうですね。

◆ 「物が乱雑になっているなあ。そろえておこう」と考え、行動するには、日頃から「乱雑さ」に気付く心が必要になってきます。これは、人の欠点をあげつらうという意味ではありません。何かいつもと違う違和感を感じ取れるセンスといってもいいでしょう。例えば、床に落ちている小さなゴミに気付くか？ 干している雑巾の乱れに気付くか？ いずれも些細なことですが、その存在に気付くには鋭い感性が求められます。

◆ 目に見える物に気付かない人に、悲しくさみしい思いをしている友達の人に気付けるはずがありません。些細な乱れに気付く、直す行動力を持てば、あなたの大切な人を幸せにすることが出来るようになるはずです。

### ＝保護者の皆様へ＝

仁賀保中学校では、昨年度来、「(体育や技術等の授業で)教室を空ける際には、机の上に物を置かないようにしよう」「ロッカーやロッカールームの整理整頓を心がけよう」ということを呼びかけていますが、まだまだ徹底されていないのが現状です。

基本的な生活習慣は、学校での指導だけでは確立できません。例えば、ご家庭で自分の部屋の整理整頓はもちろんのこと、家の中でも〇〇の掃除を子供の仕事としたり、一緒に掃除や後片付けを行うことで少しずつ身に付けていく力です。このことについて、ご家庭でお子様と話題にする機会がある時は、「周囲を見渡して何が出来るか考える」思考力や行動力をともに養うチャンスだ、と捉えてみてはどうでしょうか？

子供達が努力したのなら多少失敗したとしても、その「心意気」を大いに褒めてあげてください。